

2021年9月16日

南山大学長

ロバート・キサラ 殿

人文学部心理人間学科

川浦佐知子

## 研究休暇報告書

2020年9月16日より2021年9月15日までの一年間にわたり、研究休暇を頂きました。下記の通り、期間中の活動について報告致します。

### 1. 研究活動

#### 1) 科学研究費補助金申請

構想を温めてきたアメリカ先住民の水利権に関わる研究を、本格的にスタートさせるため研究計画を策定。研究課題名「合衆国西部の水利権係争に働く部族主権の検討：モンタナ州水利権合意に焦点をあてて」（基盤C）を、四年間のプロジェクトとして応募。2021年4月に採択を受けた。

#### 2) 研究出版へ向けての原稿執筆

これまで科研費を受けて進めてきた下記の研究を、書籍としてまとめるため、全体を貫く主題を明らかにし、構成を練った。

・「北米先住民の保留地保持を支える集会的記憶の検討：ノーザン・シャイアンの事例」

（挑戦的萌芽研究 2009～2011年度）

・「北米先住民の「記憶の場」構築に関する史的考察：ノーザン・シャイアンの史跡化営為」（基盤C 2013～2015年度）

・「現代アメリカ合衆国における国史編纂の動態の検討：米国先住民と国立公園局の歴史解釈」（基盤C 2016～2018年度）

調査時から時間が経過している事案については、現状についての追加調査を行いつつ、原稿執筆を進めた。一部完了した章については、先住民研究に関わる研究者からコメントを受けた。

当初計画では、20世紀初頭の保留地での生活実態についての一次史料の収集を、アメリカ合衆国コロラド州デンバーの国立公文書館で行う予定だったが、コロナ感染拡大によっ

て渡航が叶わず、見送りとなった。また、モンタナ州において、追加の現地調査を行う予定であったが、これも見送りとなった。

### 3) 学会発表、及び論文作成

アメリカ先住民の保留水利権について、論文を執筆し、学会発表を行った。

・「アメリカ先住民の自決と保留水利権—1952年マッカラン修正の検討—」、南山大学紀要『アカデミア』人文・自然科学編第21号、2021年1月、pp.99-122.

・「アメリカ先住民の保留水利権と部族主権—1952年マッカラン修正の検討—」、第71回日本西洋史学会、2021年5月16日、オンライン開催（主催校：武蔵大学）

・「「明白な天命」とアメリカ先住民の「文明化」：西部先住民の保留地と水利権」、アメリカ史学会第18回年次大会、2021年9月12日、オンライン開催（主催校：京都外国語大学）

## 2. 教育活動

2020年度、Q3及びQ4において、心理人間学演習、及び研究プロジェクトを担当。学生の研究指導、論文指導にあたった。

2021年度、Q1において心理人間学演習を担当。Q2にサブゼミを実施。学生の研究指導、及び研究倫理審査申請へ向けての指導を行った。

書籍執筆は未完ではありますが、研究のためのまとまった時間を頂いたことで、構想を固め、全体の目処を立てることができました。貴重な機会をいただきましたことを、感謝申し上げます。

以上